

第6学年 国語科学習指導案

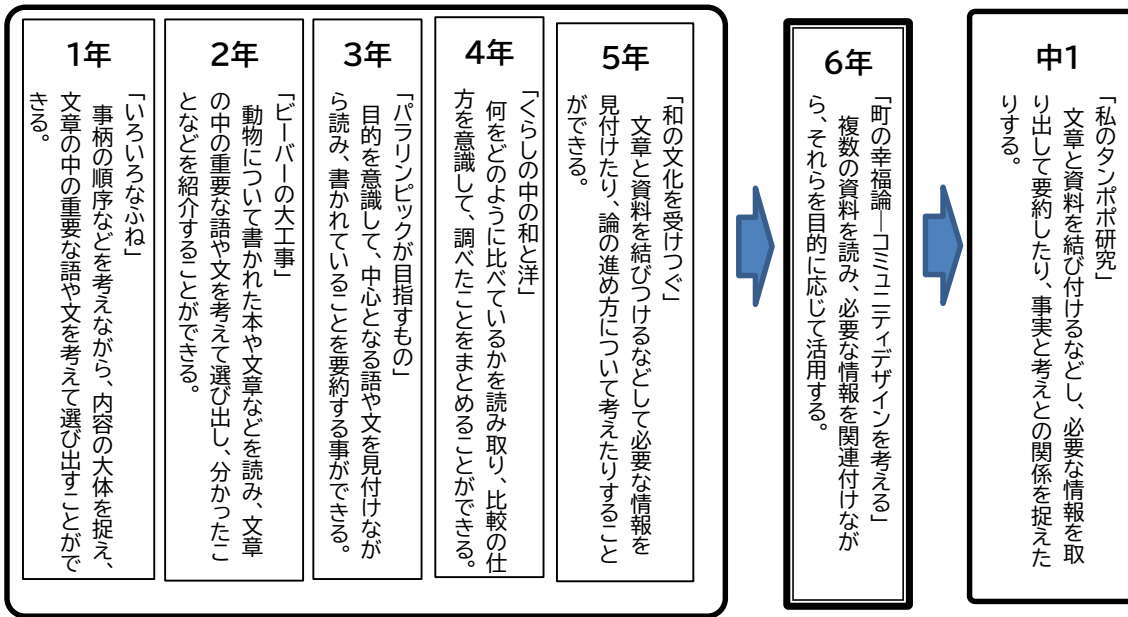
令和3年11月17日(水) 第5校時
 いの町立枝川小学校 6年1組 児童数23名
 指導者 稲垣 真治

【研究主題】生き生きと学び、表現する子どもの育成

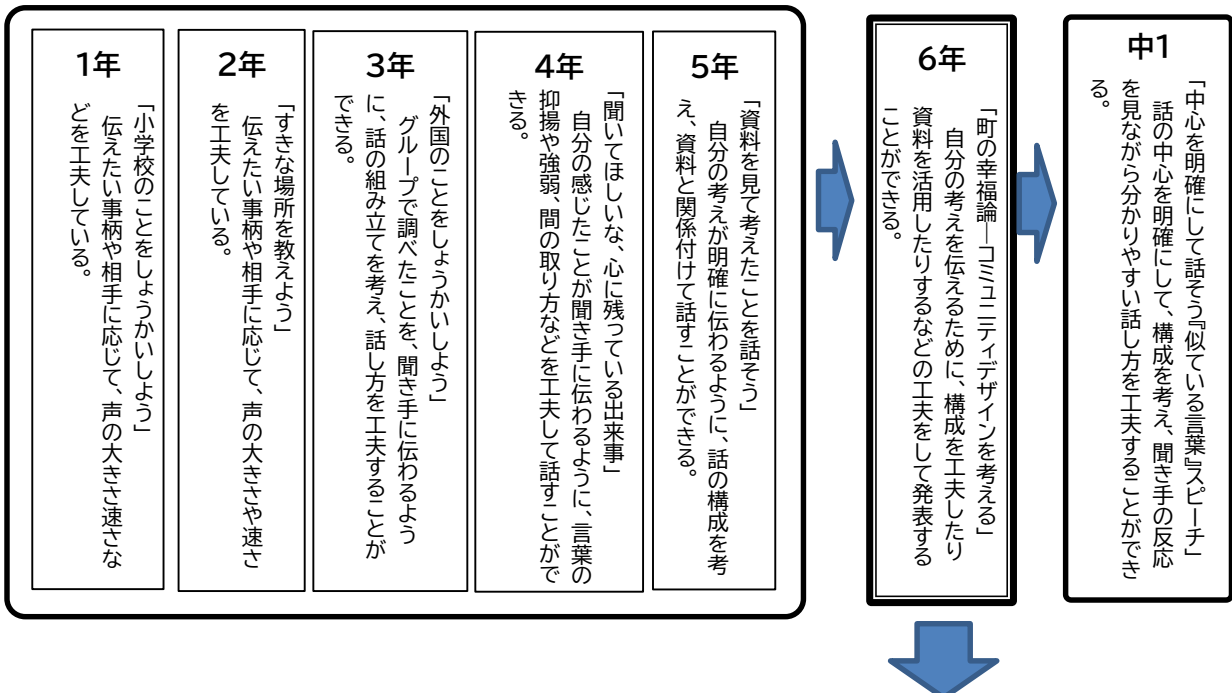
～「見方・考え方」を働かせて、思考を深める国語科の授業づくり～

- 1 単元名 「いの町の未来を、いの町長にプレゼンしよう！」
 教材名 「町の幸福論—コミュニティデザインを考える」(新しい国語六 東京書籍)

2 単元の系統性 C 読むこと(1)ウ



A 話すこと・聞くこと(1)ウ



3 単元の構想（全 13 時間）

（1）単元の見目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等
	話すこと・聞くこと	読むこと	
①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 (2)イ	①資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 A(1)ウ ②目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 A(1)ア	①目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 C(1)ウ	①言葉が持つよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

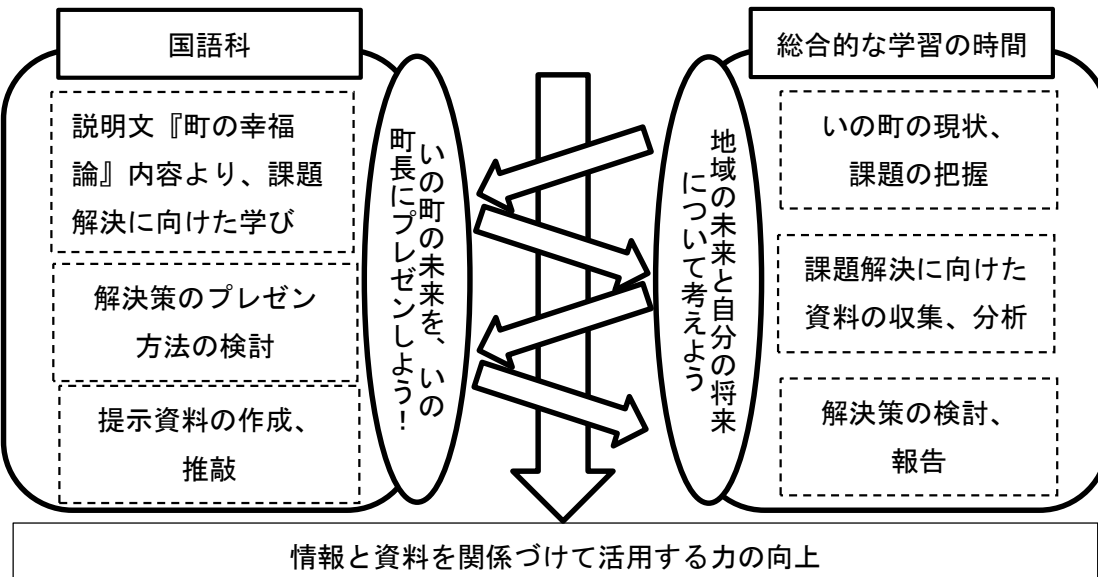
（2）単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	話すこと・聞くこと	読むこと	
①情報と情報の関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (2)イ	①「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 A(1)ウ ②「話すこと・聞くこと」において目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 A(1)ア	①「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 C(1)ウ	①学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、粘り強く必要な情報を見付けたり、積極的に表現を工夫したりしながら、いのちの未来について考えたことに対してプレゼンテーションをしようとしている。

(3) 児童の実態

① 学力調査等に関する実態	② 学びに向かう力・人間性等に関する実態
<p>◆令和3年度全国学力状況調査結果（6年） 国語科平均正答率 〇%（全国平均〇%）</p> <p>児童は、「読むこと」においては、前学年の「和の文化を受けつぐ」の学習において、情報活用の系統に位置づき、必要な情報を見つけ、情報と資料の関連付けを行ってきた。また、「話すこと・聞くこと」においては、前学年の「資料を見て考えたことを話そう」の学習において、考えが明確に伝わるように話すために、資料と関連付けて話すことも行ってきた。</p> <p>本学級の児童は、自分の考えを伝えることができるものの、考えの根拠を伝える力や、資料と情報を関連付けて発表するには個々の差が見られる。よって、本単元では、自分の考えに対し、どうしてそう考えたかという根拠を添えることをしていき、情報と資料を関連付けていくことを意識させて、図表などを用いて説明する方法やその効果を指導していきたい。</p> <p>※「学力調査に関する実態」は省略</p>	<p>◆国語アンケート（5月結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語が好きだ 73% ・授業がよくわかる 91% ・発表で伝わるように工夫している 82% <p>本単元においては、2次で、資料には、どんな効果があるのか、情報と資料の関係付けがある構成を考えることでプレゼンテーションに説得力が増すことを捉えさせる。3次では、どのような資料を選ぶのか、文章と照らし合わせて必要な資料を使うことを捉えさせる。4次では、実際に文章の構成から資料選びなどをグループで協力して行う。5次では、国語科で学んだことを生かし、総合的な学習との関連で、いの町の未来についてのプレゼンテーションの作成に取り組む。2, 3, 4次で働かせてきた見方・考え方を発揮しながら、資料や図表を選んで、情報と関連付けて構成を考えることができるようにしたい。プレゼンテーション作成の際には、Chromebook を活用し ICT を使う活動を取り入れていく。</p>

(4) 他教科・領域との関連



(5) 単元の指導計画

言語活動 図表や資料を活用するなどして、自分が考える町づくりについてのプレゼンテーションを作り、いの町長に提案する。	◇学習の流れ	◇見方・考え方を働かせた子どもの姿	評価規準 評価方法	
	第一次①	○単元の学習の見通しを立てる。 (1)総合の学習との関連で、いの町の未来についてのいの町長に提案するため、プレゼンテーションづくりをするという見通しをもつ。教師作成のものや教科書を読み、プレゼンテーションとは何かを捉える。	(1) ぼくたちが考えた「いの町の未来」を説得力をもって伝えるには、どんな伝え方をすればいいのかな。	[知識・技能①] ノート・発言 ・情報と情報の関係付けの仕方を理解しているかの確認③◎
	第二次④	○いの町の未来を分かりやすく提案するために教材文を読み、筆者の論の進め方、町づくりの考え方を知り、自分たちの町について考える。 (2)教材文を読み、文章の構成と文章の要旨を捉える。 (3)3つの事例のうち1・2の内容を読み取り、資料の効果について考える。 (4)3つの事例のうち3の内容を読み取り、資料の効果について考える。 (5)筆者の主張をもとに町の未来について自分の考えをもつ。	(2) 本論が2つあるね。本論①に事例が2つ、本論②に事例が1つあるよ。筆者は、住民が主体的に町作りに取り組むこと、未来のイメージを持つことが必要だと言っているのかな。 (3) 表とグラフがあることで、徐々に来園者数が増え、地域の住民が主体的に取り組んだことが分かるね。 (4) 筆者はバックキャストिंगの説明が図でさらに分かりやすく説明できている。写真も町の様子が分かりやすい。 (5)一人一人が安心して暮らせる町にして、幸せを感じられる町にしていきたい。	[思考・判断・表現①] ノート・発言 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしているかの確認③◎◎
	第三次③	○町づくりについて調べて、提案を考える。 自分の考える町づくりを提案するための資料を集める。(総合の時間で扱う) (6)集めた情報を分類したり関係付けたりして、提案の内容を考える。 (7)(8)話の内容が明確になるように構成を考える。	(6) 集めた情報は思考ツールを使って整理すると分かりやすいね。 (7,8) 自分たちが提案するいの町について分かりやすく伝えるためにどんな構成にすればいいかな。	[知識・技能①] ノート・発言 ・情報と情報の関係付けの仕方を理解しているかの確認⑥
	第四次④	○プレゼンテーションして発表し合い、意見を交流する。 (9)よりよいプレゼンテーションのために適切な言葉や資料の使い方などについて考える。(本時) (10)提案のよさが伝わる話し方の工夫と説得力のある話し方を考える。 (11)(12)提案のよさが伝わるように聞き手を意識してプレゼンテーションの練習をする。	(9) 分かりやすく伝えるためには情報と資料を関係づけるといいね。言葉もこういう言葉を使えばいいんじゃないかな。 (10) はっきり・簡単・ゆっくり話して、問いも入れていって興味を引き出そう。ジェスチャーや強調したところは示すといいね。 (11, 12) 聞き手の反応を確かめて、意図が伝わるように資料や言葉を使おう。	[思考・判断・表現②] ノート・発言 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討しているかの確認⑥
第五次①	○出来上がったプレゼンテーションをいの町長に紹介する。 自分が考える町づくりについてのプレゼンテーションを作り、いの町長に紹介する。(総合の時間で扱う) (13)これまでの学習を振り返る。	(13) 聞き手が聞きやすいような言葉を選ぶことも大切だけど、情報と資料を関係付けて説明することも大切だね。	[思考・判断・表現①] ワークシート・発言 ・自分の考えや伝えたいことが伝わるように情報と資料を活用して提案することができているかの確認⑨◎◎◎	

【単元でつきたい力】

図表や資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現する力

【身に付けた力の活用】

いの町長にいの町の未来の町づくりを紹介するためのプレゼンテーションを作る。